

帝人株式会社 ■ コーポレートコミュニケーション部

- 東京本社 〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号 霞が関コモンゲート西館 TEL.03-3506-4055 FAX.03-3506-4150
- 大阪本社 〒530-8605 大阪市北区中之島3丁目2番4号 中之島フェスティバルタワーウエスト TEL.06-6233-3413 FAX.06-6233-5040
- URL <https://www.teijin.co.jp>

2020年12月14日

自動車向け複合成形材料の次世代技術開発を加速 米国に先端技術の開発拠点を開設

帝人株式会社

帝人グループで軽量複合材料製品の生産・販売・技術開発を手がけるコンチネンタル・ストラクチャル・プラスチック（Continental Structural Plastics Holdings Corporation、本社：米国ミシガン州、社長：スティーブ・ルーニー、以下「CSP社」）は、このたび、マルチマテリアルでの提案力強化を目指し、米国ミシガン州に「アドバンスド・テクノロジー・センター」（英名：Advanced Technologies Center、以下「ATC」）を開設しました。



アドバンスド・テクノロジー・センター

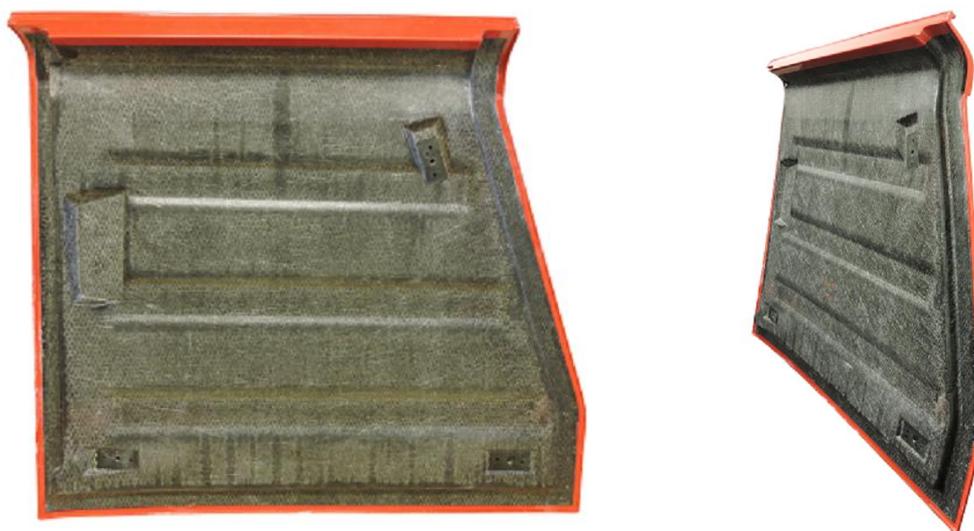
CSP社は2017年に帝人グループに加わり、以降、自社の主力材料であるGF-SMC(*)と、帝人が有する複合成形材料や炭素繊維に関する知見を融合し、電気自動車（EV）やハイブリッド車（HV）など次世代の環境配慮型の自動車に求められる、軽量で高強度な部品開発を強力に推進しています。こうした中、マルチマテリアルでのグローバル・ソリューション・プロバイダーとしての地位をより強固なものにするため、このたび、自動車向け複合成形材料事業の日本・欧州にある各研究開発拠点との共同開発をさらに強化すべく、ATCを開設することとしました。

(*)GF-SMC：Glass Fiber-Sheet Molding Compoundの略。熱硬化性樹脂をガラス繊維に含浸させ、シート状にした成形材料。

【「ATC」の概要】

| | |
|------|---|
| 名 称 | Advanced Technologies Center (アドバンスド・テクノロジー・センター) |
| 業務内容 | 次世代自動車向け複合成形材料や部品に関する技術開発 |
| 所在地 | 米国・ミシガン州 オーバーンヒルズ (旧・Teijin Advanced Composites Americaの敷地内) |
| 面積 | 約 47,500 平方フィート (約 4,400 平方メートル) |
| 開設時期 | 2020 年秋 |

また、CSP社では、ATCの開設前から画期的な軽量ハニカムパネルの開発を進めてきましたが、このたび、ATCとしての最初のプロジェクトとして、その開発に成功しました。本パネルは、軽量なハニカムコア材料を、繊維にポリウレタン樹脂を含浸させた外板で覆ったサンドイッチ構造をしており、超軽量で強度に優れ、深絞り、鋭角といった複雑な形状の成形が可能です。また、自動車業界で「クラスA」と称される美しい外観を有する外板パネルにも適用することができ、幅広い用途展開が期待できます。



開発したハニカム構造パネル(左から正面・側面)

帝人グループは、マルチマテリアルでのTier 1サプライヤーとして、使用材料の拡充から部品設計にまで踏み込んだソリューション提案力の強化や、グローバルでの安定供給体制の確立を進めていきます。そして、2030年近傍には、自動車向け複合材料製品事業の売上を2,000百万米ドル規模へと拡大していきます。

以 上

【 当件に関するお問合せ先 】

帝人株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL: (03) 3506-4055